

# 第5回 ブリッジ研究会

第5回

## 2018.11.11 大腸がん

### ① 大腸がんの基礎知識



舩石 俊樹 ますいし としき  
愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 医長

- 【略歴】 2005年3月 旭川医科大学卒業  
 2005年4月 横須賀共済病院 研修医  
 2007年4月 東京医科歯科大学消化器内科入局  
 青梅市立総合病院 消化器内科  
 2009年4月 土浦協同病院 消化器内科  
 2014年4月 愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 レジデント  
 2018年4月 愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 医長

【メッセージ】 大腸がんの罹患率は年々増加しており、今後ますます治療と就労の両立が重要な疾患となっていきます。手術後の排便障害や人工肛門、薬物療法によるしびれや皮膚障害などの副作用が就労において問題となる可能性があります。一方で、大腸がんは術後でも、薬物療法施行中でも、元気に普段通り生活できる方がほとんどであり、治療しながら就労することは十分に可能です。治療による就労への影響をどのように解決するべきかを考え、議論したいと思います。

### ② 大腸がん体験者の就労での困りごとを知る

### ③ グループディスカッション&全体共有

©一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット - ブリッジ

医療×労働Ⅱ職場

ブリッジ 第5回研究会

## 大腸がんとともに働く

2018年 11月11日 (日) 13:30~16:30

ウィングあいち1208会議室

2016年2月に厚生労働省より「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が発表されました。今まで医療の側で議論されることの多かった「仕事と治療の両立」の問題は、実際に労働の現場でどのように治療と共にある労働者を受け入れるのかを検討するフェーズに移ってきたと言えます。つまり今こそ医療従事者と企業関係者が垣根を越えて情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することが求められているのです。

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、各領域をつなぐ場を設け、各回1テーマで専門の立場からのレクチャーと会場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。今回のテーマは「大腸がん」です。がん統計によると、部位別の罹患数は第2位で、とても身近でありながら、困りごとがあっても相談しにくいと感じることもあるようです。どんな特徴があるのかも知り、対応について考えていきましょう。さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体的な解決策を共に見出し、いくコミュニティとして発展することを願っています。

- 対象 医療関係者・企業関係者・両立支援関係者
- 料金 ブリッジ会員：無料 非会員：2,000円  
※当日の入会も可能です
- 定員 36名
- 申込 <https://kokucheese.com/event/index/529789/>  
※ブリッジHPからもリンクします **仕事 治療 ブリッジ**
- 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ
- 後援 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会、  
(独)労働者健康安全機構 愛知産業保健総合支援センター

の多様性の構築